

長岡京市
第2期
教育基本
計画
策定

心のふれあいを大切に 生きる力をはぐくむ
明日の長岡京を創る しなやかな人づくり



はじめに

長岡京市教育振興基本計画は、長岡京市の教育の総合的なプランとして、目指すべき姿やその実現に向けて取り組むべき施策を定めるものです。

平成23年3月に策定した長岡京市教育振興基本計画（第1期）の計画期間終了に伴い、新たに令和3年度から12年度までを計画期間とする「長岡京市第2期教育振興基本計画」を策定いたしました。

本計画の策定に当たっては、社会経済情勢等の変化による新たな教育課題や市民ニーズへの対応、現行計画の検証による施策内容の修正、国、府及び市の動向を視野に入れて、これからの教育のあるべき姿を2年間にわたり、市教育委員会において検討してまいりました。

その策定作業の最中、令和2年2月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国一斉の臨時休校が要請されました。かつてない臨時休校を経験し、学びの場としての学校の重要性が改めて認識されることとなりました。緊急事態宣言解除後、「新たな生活様式」の実践が提唱されるようになったのは記憶に新しいところです。

新型コロナウイルス感染症については、未だ収束に至っていない状況ではありますが、その中でも、ICTを活用したりリモートでの人と人とのふれあいや、新たな学びの可能性、テレワーク導入による多様な働き方など、社会変革の波が生まれつつあります。

そして、このような前例のない予測不可能な時代において、一人一人が自ら判断し、対応できる力を育むことがより一層求められています。また、今後、多様化・複雑化する社会において、人と人とが互いに分かり合うために、学びが担う役割は、これまで以上に重要なものになっていくと思われれます。

本計画では、基本理念を「心のふれあいを大切に 生きる力をはぐくむ 明日の長岡京を創るしなやかな人づくり」と定め、基本理念から導かれる『目指す人間像』、『基本目標』、『施策の基礎となる視点』に加え、『新たな教育の循環』を長岡京市の教育が目指す姿として示しています。

人づくりはまちづくりであるという考えの下に、変化の激しいこれからの時代を生き抜き、幸せな人生を送ることができる人を育むとともに、本市の第4次総合計画基本構想において掲げる「住みたい 住み続けたい 悠久の都 長岡京」の実現に向けて、新たなまちをつくる力、そして、時代を切り拓く力を、教育によって生み出していくことを目指してまいります。

最後に、長岡京市教育振興基本計画審議会の皆様をはじめ、アンケート調査等にご協力いただいた市民の皆様及び教職員の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本計画の推進に当たりご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

長岡京市教育長 山本和紀

目次

第1章 計画策定の概要.....	1
1 計画策定の趣旨.....	2
2 計画の位置づけ・計画期間.....	3
3 計画の策定体制.....	4
第2章 長岡京市の教育を取り巻く状況.....	5
1 社会情勢の変化.....	6
2 国の動向.....	8
3 京都府の動向.....	10
4 本市の動向.....	10
第3章 長岡京市の教育が目指す姿.....	16
1 基本理念.....	17
2 目指す人間像.....	18
3 基本目標.....	20
4 施策の基礎となる視点.....	22
5 新たな教育の循環.....	24

第4章 施策の展開.....	26
1 子どもたちの「生きる力」の育成.....	29
2 持続可能な教育施策推進のための環境整備.....	41
3 生涯を通じた、多様な学びによる豊かな人づくり、地域づくり.....	46
4 子どもを中心につながる地域の学びの場の推進.....	55
第5章 計画の推進に向けて.....	60
1 計画の周知と情報の発信.....	61
2 計画の推進と点検評価.....	61
資料編.....	62
1 用語解説.....	63
2 長岡京市における教育文化施設の立地状況.....	69
3 統計データからみる長岡京市の現状.....	70
4 アンケート結果からみる長岡京市の教育.....	86
5 長岡京市教育振興基本計画審議会等.....	103
6 計画の策定経過.....	107

用語解説について

- ・本文中で解説が必要な用語については、最初の用語のみ※を付けています。
- ・解説は63ページの用語解説一覧にて、アルファベット、50音順に掲載しています。

